

事項	すもものスモモヒメシンクイに対応したシンクイムシ類の防除対策																																					
ねらい	すももでは晩生種の導入に伴いモモシンクイガのほかにスモモヒメシンクイによる被害が目立つようになり、従来のモモシンクイガ主体の薬剤防除対策では不十分となった。このため、スモモヒメシンクイに対応したシンクイムシ類の防除対策を作成したので参考に供する。																																					
指導参考内容	<p>1 すもも果実はスモモヒメシンクイ及びモモシンクイガに加害され、収穫時期が遅い品種ほど被害が多い。</p> <p>2 従来のシンクイムシ類防除剤に加えて、スモモヒメシンクイに対応した防除対策ではサムコルフロアブル10の2,500倍及びテルスターフロアブル3,000倍を利用する。</p> <p>3 スモモヒメシンクイを防除するため、落花10日後から9月上旬まで10日間隔でシンクイムシ類防除剤を散布する。</p> <p>4 すもも園でのスモモヒメシンクイに対応したシンクイムシ類の薬剤防除対策例（もも、ネクタリン、すももの共通防除体系を基本に組み立て）は、以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="331 913 1444 1637"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 920 592 981">防除時期</th> <th data-bbox="592 920 1007 981">スモモヒメシンクイに対応したシンクイムシ類の薬剤防除対策</th> <th data-bbox="1007 920 1439 981">従来のシンクイムシ類の薬剤防除対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 981 592 1025">落花10日後</td> <td data-bbox="592 981 1007 1025">サイアノックス水和剤 1,000倍</td> <td data-bbox="1007 981 1439 1025"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1025 592 1115">落花20日後</td> <td data-bbox="592 1025 1007 1115">ダーズバンDF 3,000倍</td> <td data-bbox="1007 1025 1439 1115">ダイアジノン水和剤34 1,000倍 又はダーズバンDF 3,000倍</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1115 592 1160">落花30日後</td> <td data-bbox="592 1115 1007 1160">ダイアジノン水和剤34 1,000倍</td> <td data-bbox="1007 1115 1439 1160"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1160 592 1205">落花40日後</td> <td data-bbox="592 1160 1007 1205">ダーズバンDF 3,000倍</td> <td data-bbox="1007 1160 1439 1205">ダーズバンDF 3,000倍</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1205 592 1249">7月上旬</td> <td data-bbox="592 1205 1007 1249">サムコルフロアブル10 2,500倍</td> <td data-bbox="1007 1205 1439 1249">(アディオンフロアブル 1,500倍)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1249 592 1361">7月中旬 (大石早生収穫前)</td> <td data-bbox="592 1249 1007 1361">スカウトフロアブル 2,000倍</td> <td data-bbox="1007 1249 1439 1361">スカウトフロアブル 2,000倍</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1361 592 1406">7月下旬</td> <td data-bbox="592 1361 1007 1406">モスピラン水溶剤 4,000倍</td> <td data-bbox="1007 1361 1439 1406">モスピラン水溶剤 4,000倍</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1406 592 1518">8月上旬 (ソルダム収穫前)</td> <td data-bbox="592 1406 1007 1518">テルスターフロアブル 3,000倍</td> <td data-bbox="1007 1406 1439 1518">(ダントツ水溶剤 2,000倍) (又はジノテフラン水溶剤 2,000倍)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1518 592 1563">8月中旬</td> <td data-bbox="592 1518 1007 1563">モスピラン水溶剤 4,000倍</td> <td data-bbox="1007 1518 1439 1563">モスピラン水溶剤 4,000倍</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1563 592 1608">8月下旬</td> <td data-bbox="592 1563 1007 1608">テルスターフロアブル 3,000倍</td> <td data-bbox="1007 1563 1439 1608">(ジノテフラン水溶剤 2,000倍)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1608 592 1637">9月上旬</td> <td data-bbox="592 1608 1007 1637">スカウトフロアブル 2,000倍</td> <td data-bbox="1007 1608 1439 1637"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 ()内(斜体字)はアブラムシ類防除剤 2 ジノテフラン水溶剤：アルバリン顆粒水溶剤、スタークル顆粒水溶剤</p> <p>5 スモモヒメシンクイの発生の多い園地では、殺虫剤のみの防除では不十分なため、交信攪乱剤オリフルア剤(ナシヒメコン)を併用する。</p> <p>6 ナシヒメコンは4月下旬～5月上旬に、10a当たり100本を目通りの高さに7割、残りを樹の上部に取り付ける。</p> <p>7 ナシヒメコンはすもも及び他の果樹に設置し、30a程度の設置面積を確保する。</p>		防除時期	スモモヒメシンクイに対応したシンクイムシ類の薬剤防除対策	従来のシンクイムシ類の薬剤防除対策	落花10日後	サイアノックス水和剤 1,000倍		落花20日後	ダーズバンDF 3,000倍	ダイアジノン水和剤34 1,000倍 又はダーズバンDF 3,000倍	落花30日後	ダイアジノン水和剤34 1,000倍		落花40日後	ダーズバンDF 3,000倍	ダーズバンDF 3,000倍	7月上旬	サムコルフロアブル10 2,500倍	(アディオンフロアブル 1,500倍)	7月中旬 (大石早生収穫前)	スカウトフロアブル 2,000倍	スカウトフロアブル 2,000倍	7月下旬	モスピラン水溶剤 4,000倍	モスピラン水溶剤 4,000倍	8月上旬 (ソルダム収穫前)	テルスターフロアブル 3,000倍	(ダントツ水溶剤 2,000倍) (又はジノテフラン水溶剤 2,000倍)	8月中旬	モスピラン水溶剤 4,000倍	モスピラン水溶剤 4,000倍	8月下旬	テルスターフロアブル 3,000倍	(ジノテフラン水溶剤 2,000倍)	9月上旬	スカウトフロアブル 2,000倍	
防除時期	スモモヒメシンクイに対応したシンクイムシ類の薬剤防除対策	従来のシンクイムシ類の薬剤防除対策																																				
落花10日後	サイアノックス水和剤 1,000倍																																					
落花20日後	ダーズバンDF 3,000倍	ダイアジノン水和剤34 1,000倍 又はダーズバンDF 3,000倍																																				
落花30日後	ダイアジノン水和剤34 1,000倍																																					
落花40日後	ダーズバンDF 3,000倍	ダーズバンDF 3,000倍																																				
7月上旬	サムコルフロアブル10 2,500倍	(アディオンフロアブル 1,500倍)																																				
7月中旬 (大石早生収穫前)	スカウトフロアブル 2,000倍	スカウトフロアブル 2,000倍																																				
7月下旬	モスピラン水溶剤 4,000倍	モスピラン水溶剤 4,000倍																																				
8月上旬 (ソルダム収穫前)	テルスターフロアブル 3,000倍	(ダントツ水溶剤 2,000倍) (又はジノテフラン水溶剤 2,000倍)																																				
8月中旬	モスピラン水溶剤 4,000倍	モスピラン水溶剤 4,000倍																																				
8月下旬	テルスターフロアブル 3,000倍	(ジノテフラン水溶剤 2,000倍)																																				
9月上旬	スカウトフロアブル 2,000倍																																					

<p>指導参考内容</p>	<p>8 ナシヒメコンはモモシンクイガに効果がないので、上記のスモモヒメシンクイに対応したシンクイムシ類防除剤を必ず使用し、殺虫剤の削減は行わない。</p> <p>ナシヒメコンの登録内容</p> <table border="1" data-bbox="339 439 1453 701"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>使用目的</th> <th>対象害虫名</th> <th>使用量</th> <th>使用時期</th> <th>使用方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>果樹類</td> <td></td> <td>ナシヒメシンクイ</td> <td>50～100本/10a</td> <td>成虫発生</td> <td>ディスプレイを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。</td> </tr> <tr> <td>すもも</td> <td>交尾阻害</td> <td>スモモヒメシンクイ</td> <td>50～100本/10a</td> <td>初期から終期</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				作物名	使用目的	対象害虫名	使用量	使用時期	使用方法	果樹類		ナシヒメシンクイ	50～100本/10a	成虫発生	ディスプレイを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。	すもも	交尾阻害	スモモヒメシンクイ	50～100本/10a	初期から終期	
作物名	使用目的	対象害虫名	使用量	使用時期	使用方法																	
果樹類		ナシヒメシンクイ	50～100本/10a	成虫発生	ディスプレイを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。																	
すもも	交尾阻害	スモモヒメシンクイ	50～100本/10a	初期から終期																		
<p>期待される効果</p>	<p>スモモヒメシンクイを含むすもも害虫のシンクイムシ類を対象とした薬剤防除対策を実施でき、果実被害を低減することができる。さらにナシヒメコンを併用することでスモモヒメシンクイに対する防除が強化され、スモモヒメシンクイの発生密度の低減及びすもも晩生種での被害軽減が図られ、出荷量が増加する。</p>																					
<p>利用上の注意事項</p>	<p>1 本資料は平成26年2月28日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報検索システム」(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)を確認すること。</p> <p>3 収穫直前に散布する際は薬剤の使用時期(収穫前日数)を必ず確認する。また、収穫済みの品種・樹に対するシンクイムシ類防除剤の散布は不要である。</p> <p>4 平成21年度指導参考資料「もも、ネクタリン、すももの樹種複合での病虫害防除の多くを共通化する散布体系」も参照する。</p> <p>5 ナシヒメコンの設置方法等はりんご果樹課資料372号「りんごの交信攪乱剤利用マニュアル」に準ずる。</p> <p>6 ナシヒメコンは1年ごとに取り替え、剪定時などに回収し、処分する、</p> <p>7 ナシヒメコンを導入する場合は、必ずJAの営農指導員、地域農業普及振興室及び病虫害防除所に相談する。</p>																					
<p>問い合わせ先(電話番号)</p>	<p>りんご研究所 県南果樹部 (0178-62-4111)</p>	<p>対象地域</p>	<p>県下全域</p>																			
<p>発表文献等</p>	<p>平成18年度 試験研究成績概要集(りんご試験場県南果樹研究センター)</p> <p>平成19年度 試験研究成績概要集(りんご試験場県南果樹研究センター・りんご試験場栽培部(特産果樹))</p> <p>平成20年度 試験研究成績概要集(特産果樹)(りんご試験場県南果樹センター・りんご試験場)</p> <p>平成21～25年度 試験研究成績概要集(特産果樹)(りんご研究所)</p> <p>北日本病虫害研究会報 第63号</p>																					

【根拠となった主要な試験結果】

表1 りんご研究所県南果樹部の殺虫剤無散布圃場におけるすもも収穫果実の加害種
(平成18～20年 青森りんご研県南果樹)

年次	調査品種	収穫日	調査果数	被害果率	被害果内幼虫数	
					スモモヒメシンクイ	モモシンクイガ
平成18年	大石早生	7月25日	1,064	2.8%	3	0
	ニュー太陽	8月20日	567	18.2	80	4
	秋 姫	9月15日	130	59.2	43	13
平成19年	ニュー太陽	9月7日	152	67.1	42	0
	秋 姫		48	77.1	12	0
平成20年	大石早生	7月25日	1,488	0.4	0	0
	ニュー太陽	8月19日	659	21.9	54	1
	秋 姫	9月16日	166	60.8	50	3

表2 シンクイムシ類防除薬剤の検索
(平成20～23年 青森りんご研県南果樹)

年次	供試薬剤・希釈倍数	調査品種	収穫日	被害果率	防除価	散布日
平成20年	ダズバンDF 3,000倍	ニュー太陽	8/15	5.0%	74	7/24、8/4
	モスピラン水溶剤 4,000倍			3.5	82	
	モスピラン水溶剤 4,000倍	秋 姫	9/15	6.0	90	8/27、9/5
	スカウトフロアブル 2,000倍			2.5	96	
平成21年	ダイアジノン水和剤34 1,000倍	ニュー太陽	8/27	7.2	58	7/24、8/6、8/19
	サイアノックス水和剤 1,000倍			0	100	
平成22年	サムコルフロアブル10 2,500倍	ソルダム	8/18	4.6	74	7/28、8/6、8/16
平成23年	テルスターフロアブル 3,000倍	ニュー太陽	8/31	0.5	98	7/15、7/25、8/3、8/12、8/22
	サムコルフロアブル10 2,500倍			4.6	77	

- (注) 1 加害種はスモモヒメシンクイ主体
2 平成21年は7月14日まで、平成22年は7月15日まで、平成23年は7月7日まで従来の薬剤防除対策を実施

表3 りんご研究所県南果樹部におけるシンクイムシ類の被害状況
(平成23～24年 青森りんご研県南果樹)

年次	薬剤散布	被害果率	殺虫剤散布日	備考
平成23年	従来の防除対策	31.9%	6/6、6/28、7/7、7/14、7/25、8/3、8/12、8/22	「大石早生」の落花日：5/13
平成24年	スモモヒメシンクイ対応防除対策	9.2	5/25、6/5、6/15、6/25、7/6、7/18、7/27、8/8、8/20、8/31、9/13	「大石早生」の落花日：5/9

- (注) 1 2か年とも調査品種は「秋姫」で、収穫日は9月14日
2 加害種はスモモヒメシンクイ主体

表4 りんご研究所県南果樹部すもも園におけるシンクイムシ類の性フェロモントラップへの誘引状況
(平成25年 青森りんご研県南果樹)

ナシヒメコン	対象害虫	5月			6月			7月			8月			9月			10月	計
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	
処理区 (100a)	スモモヒメシンクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナシヒメシンクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	モモシンクイガ	—	—	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
無処理区 (30a)	スモモヒメシンクイ	0	0	3	4	1	4	1	9	38	39	4	49	60	12	0	0	224
	ナシヒメシンクイ	0	1	4	1	2	1	7	11	11	6	5	2	9	2	0	0	62
	モモシンクイガ	—	—	0	0	0	1	2	10	17	8	9	29	2	0	0	0	78

- (注) 1 性フェロモントラップ設置：モモシンクイガ5/20～10/21、スモモヒメシンクイ・ナシヒメシンクイ5/8～10/21
 2 処理区では5月1日にナシヒメコンを100本/10a取り付けた。
 3 処理区の殺虫剤散布：5/20ダイアジノン水和剤34 1,000倍、6/1サイアノックス水和剤1,000倍、6/10ダーズバンDF 3,000倍、6/20ダイアジノン水和剤34 1,000倍、6/30ダーズバンDF 3,000倍、7/13サムコルフロアブル10 2,500倍、7/25スカウトフロアブル2,000倍、8/7モスピラン顆粒水溶剤4,000倍、8/15テルスターフロアブル3,000倍、8/22モスピラン顆粒水溶剤4,000倍、9/4テルスターフロアブル3,000倍、9/12スカウトフロアブル2,000倍
 4 無処理区の殺虫剤散布：6/10ダーズバンDF 3,000倍、7/5ダーズバンDF 3,000倍、7/12アデイオンフロアブル1,500倍、7/22スカウトフロアブル2,000倍、8/2モスピラン水溶剤4,000倍、8/12スカウトフロアブル2,000倍、8/23モスピラン水溶剤4,000倍、9/2アルバリン顆粒水溶剤2,000倍

表5 現地すもも園におけるシンクイムシ類の性フェロモントラップへの誘引状況
(平成25年 青森りんご研県南果樹)

ナシヒメコン	対象害虫	5月			6月			7月			8月			9月			10月	計
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	
処理区 (30a)	スモモヒメシンクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ナシヒメシンクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	モモシンクイガ	0	0	0	0	1	2	5	12	14	24	9	5	1	0	0	0	73
無処理区 (1a)	スモモヒメシンクイ	0	0	3	2	0	0	0	1	4	4	0	5	0	0	0	0	19
	ナシヒメシンクイ	0	3	7	1	1	1	12	8	9	13	1	11	20	0	2	0	89
	モモシンクイガ	0	0	0	0	0	0	0	1	6	11	16	5	6	1	0	0	46

- (注) 1 性フェロモントラップ設置：モモシンクイガ5/21～10/21、スモモヒメシンクイ・ナシヒメシンクイ5/8～10/21
 2 南部町正寿寺で実施した。処理区では5月8日にナシヒメコンを100本/10a取り付けた。殺虫剤の散布は両区とも同じである。
 3 殺虫剤散布：5/28ダイアジノン水和剤34 1,000倍、6/15ダーズバンDF 3,000倍、6/25ダイアジノン水和剤34 1,000倍、7/5サムコルフロアブル10 2,500倍、7/13スカウトフロアブル2,000倍、7/30モスピラン水溶剤4,000倍、8/10テルスターフロアブル3,000倍、8/22テルスターフロアブル3,000倍、9/4スカウトフロアブル2,000倍

表6 現地におけるシンクイムシ類の被害状況 (平成25年 青森りんご研県南果樹)

ナシヒメコン	調査果数	被害果数	被害果率	備考
処理区	91	0	0 %	
無処理区	88	8	9.1	スモモヒメシンクイ

(注) 現地は表5に同じ。9月22日に「秋姫」を採取し、加害種を調査した。

(参考価格) 10a 当たり100本取付で、3,800円 (税別)。